

市内中学生が大会入賞を報告

今年度の茨城県民総合体育大会で上位入賞を果たし、関東大会出場が決定した市内の中学生が、8月3日に市役所で行われた出場報告会・激励会に出席しました。

出席したのは市内の中学校4校・14人の生徒で、各選手が県大会での成績報告を行い、関東大会に向けた抱負などを語ってくれました。

「自分を信じて精一杯頑張りたい」「チームみんなで力を合わせて頑張りたい」など、関東大会への意気込みを力強く語る選手たち。日々部活動に打ち込む熱意とスポーツ選手らしい爽やかさが伝わってきました。

関東大会は8月6日～10日、関東各県で行われました。

県民総合体育大会・関東大会



報告会・激励会に出席した城南中（ソフトテニス女子団体）、城西中（弓道女子団体）、長山中（水泳個人）、城ノ内中（水泳個人・女子団体／陸上個人／弓道男子団体）の皆さん

「馴染地区花いっぱい運動連合会」が除草活動

—大和ハウス工業(株)社員も活動協力—



この日は「龍ヶ崎まちづくり・つなぐネット」の事業で、大和ハウス工業(株)龍ヶ崎工場の社員の皆さんが早朝から協力してくれました。

毎年、満開のコスモスが美しい景観を見せてくれる県道佐貫停車場線で、7月8日、「馴染地区花いっぱい運動連合会」が除草活動を行いました。

今回の除草活動には、大和ハウス工業(株)龍ヶ崎工場の社員13人が早朝から参加・協力してくれましたが、これは市民活動に「協力したい（協力）団体」と「協力してほしい（受け入れ）団体」との橋渡しを行う「龍ヶ崎まちづくり・つなぐネット」の事業です。平成28年度は、14の事業所・学校が協力団体に登録し、9つの市民活動で協力が実現しています。

登録は、受け入れ団体・協力団体とも随時受付しています。ご希望の団体は市民協働課 ☎ 60-1522 にお問い合わせください。

関東鉄道竜ヶ崎線客車庫さよならイベント

関東鉄道竜ヶ崎線の車両点検などで100年以上使用された「竜ヶ崎客車庫」が8月下旬に解体されることとなり、その「さよならイベント」（龍ヶ崎市地域公共交通活性化協議会主催）が8月6日に開催されました。

「客車庫」は、柱や梁などにイギリス製の古いレールが使われているのが特徴で、1914年ごろから車両の整備拠点として使用されてきましたが、老朽化により新たな車両整備施設に生まれ変わることが決まっています。

この日のイベントには、市内外から鉄道ファンなど65人が参加。特別公開された客車庫の内部や長年使われてきた備品など、竜ヶ崎線を支えてきた遺産の数々を写真に収めながら、1世紀にもわたる歴史の重みを肌で感じていました。

—車両の整備拠点、100年以上の歴史に幕—



市内外から参加した多くの鉄道ファンなどが別れを惜しみました